

令和 3 年度  
北村山広域行政事務組合教育委員会  
事務事業点検・評価報告書  
(令和 2 年度事業分)

北村山広域行政事務組合教育委員会



## 目 次

1	北村山広域行政事務組合教育委員会事務事業の点検・評価について	2
	(1) 制度の概要及び目的	
	(2) 点検・評価の対象事業	
	(3) 点検・評価の方法	
2	教育委員会の活動状況	2
	(1) 教育委員会の開催	
	(2) 北村山教育会基金の運用状況	
	(3) 北村山教育賞等の表彰	
	(4) 北村山教育会基金助成金の交付	
3	運営委員会の開催状況並びに委員の意見等（学識経験者の知見の活用）	4
	(1) 運営委員会の開催	
	(2) 運営委員の意見	
4	北村山視聴覚教育センター 運営方針・重点施策 及び主な事務事業	6
5	点検・評価対象事業一覧	9
	令和2年度北村山広域行政事務組合教育委員会 事務事業点検・評価書	11

## 1 北村山広域行政事務組合教育委員会事務事業の点検・評価について

### (1) 制度の概要及び目的

平成19年に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正（平成20年4月1日施行）により、教育委員会は権限に関する事務の管理及び執行状況について自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表しなければなりません。

北村山広域行政事務組合教育委員会ではこの法律の主旨に則し、効果的な教育行政の推進に資するため、年度毎に事務事業を点検・評価し報告書を作成します。

### (2) 点検・評価の対象事業

本報告書の点検・評価の対象事業は、令和元年度に実施した北村山視聴覚教育センター運営方針・重点施策に基づいた主要な事業を対象としています。

### (3) 点検・評価の方法

点検・評価の対象とした事業は、それぞれの事業ごとに「事務事業点検・評価書」を作成し「必要性」「効率性」「有効性」等の観点から総合評価したうえで、今後の方向性として、「継続・拡大」、「見直・改善」、及び「縮小・廃止」に区分して明確化しました。

## 2 教育委員会の活動状況

### (1) 教育委員会の開催

令和2年度は、2回の教育委員会会議を開催しました。

ア 令和2年10月29日 第3回教育委員会会議

議第3号 北村山教育賞の表彰候補者について

イ 令和3年2月9日 第1回教育委員会会議

議第1号 令和3年度北村山広域行政事務組合教育に関する予算要求について

### (2) 北村山教育会基金の運用状況

基金の令和2年度末現在高は、2,021万8,233円です。

(単位：円)

区 分	前年度末 現在高	決算年度中増減高		決算年度末 現在高	
		増	減		
北村山教育会基金	現金	20,974,476	10,487	766,730	20,218,233

(3) 北村山教育賞等の表彰

令和2年度は、北村山教育賞1団体、北村山教育奨励賞1名を表彰しました。

- ・北村山教育賞 村山市立楯岡小学校合唱部（村山市）
- ・北村山教育奨励賞 細谷 大智（村山市）

(4) 北村山教育会基金助成金の交付

令和2年度は、4団体に北村山教育会基金助成金を交付しました。

- ・北村山地区指導主事連絡協議会
- ・北村山地区小・中校長会協議会
- ・北村山地区小・中・高生徒指導連絡協議会
- ・北村山図書館協議会

### 3 運営委員会の開催状況並びに委員の意見等（学識経験者の知見の活用）

#### (1) 運営委員会の開催

令和2年度は、2回の運営委員会を開催しました。

##### ア 令和2年6月5日 第1回運営委員会

(ア) 令和元年度センター事業報告

(イ) 令和2年度センター運営方針・重点事業について

##### イ 令和3年1月27日 第2回運営委員会

(ア) 令和2年度センター運営状況、事業について（経過報告）

(イ) 令和3年度センター運営方針・重点事業（案）について

#### (2) 委員の意見

##### ア 研究と研修活動の充実

(高橋哲也副運営委員長 北村山地区中学校長会長)

○委嘱研究員の授業を参観したが、GIGA スクール構想のモデルとなる授業だった。新型コロナの影響で他校からの参観が難しい状況であるが、GIGA スクール構想に関わる端末活用については、委嘱研究事業に学校教職員を積極的に招集し、研修を積ませてはどうか。今後も事業を継続していただき、実践の発信をお願いしたい。

(鈴木敦夫委員 北村山小中学校教育研究会メディア教育部会長)

○プログラミング教育や GIGA スクール構想への対応など、視聴覚教育センターの存在価値はすごく高まっていると感じる。また、各種研修や情報提供、相談業務など大変心強く感じている。今後も学校教育において視聴覚教育センターの事業をうまく活用できるよう、連携を図っていただきたい。

(柴崎元実委員 子ども会育成会及び PTA 関係者 尾花沢市 PTA 連合会長)

○GIGA スクール構想で1人1台のPC環境が進むと、子供達の健康にも影響が出るのではないかと思う。健康面の配慮もお願いしたい。

(佐藤淳一委員 村山市教育委員会推薦学識経験者)

○学校でのICT活用について、各学校に具体的にどういった機器が配置され、どのように活用されているのか知る機会が少ない。ぜひ教室で活用している状況を見る機会を設けていただきたい。

(柏倉泰樹委員 大石田町教育委員会推薦学識経験者)

○学校教育向けのICT活用事業だけでなく、社会教育や一般向け、特にシニア世代も利用できるような講座(タブレット出張研修、スマートフォン活用講座 など)を企画し

ていただきたい。

#### イ 映像教材の制作、保存活動の充実

(村山恵子委員 社会教育関係者 特定非営利活動法人クリエイトひがしね事務局長)

○北村山自作視聴覚教材コンクールの審査員として、自作視聴覚教材を初めて視聴した。児童・生徒の創意工夫あふれる作品ばかりで、私も勉強になった。撮影や編集の技術をさらに向上させるために、今後とも教材制作の助けとなるような事業の充実に期待したい。

#### ウ 一般公開の充実

(原田健男委員 村山教育事務所 社会教育課長)

○オンラインイベントの開催など、地域の方々にも ICT の活用を進めていただいたことに感謝申し上げたい。そうした中で、地域の方々の中にはこうしたものに不慣れな方も多い。新しい時代となり、オンラインを含め今は様々な参加方法があることを、学校だけでなく多くの皆様に伝えていただきたい。

(板垣仁樹委員 マスコミ関係者 山形新聞村山市支社長)

○新型コロナの影響で日々状況が変わる中で、一般公開やイベントの対応で痛みを伴う判断をされてきたと思う。最近のイベント等は web 会議などオンラインの開催が増えてきている。オンラインイベントはコストカットの面や集客等、オフラインに比べて気軽に参加しやすい側面がある。弊社としても、一般公開のイベントに少しでも役に立てるように引き続き情報発信をしていきたい。

(柏倉泰樹委員 大石田町教育委員会推薦学識経験者)

○視聴覚教育センターの利用について、一般の方々にも PR し、気軽に利用できるようにするとイベント情報を提供できる機会が増えるのではないか。

(寒河江秀壽委員 センター利用団体関係者 北村山天文愛好会長)

○施設の老朽化が進む中で、プラネタリウムの光源の LED 化や椅子の改修など、良い方向で動いてこられたと思う。今後は、施設のバリアフリー化(エレベーターの設置等)についても検討していただきたい。

※運営委員は、北村山広域行政事務組合立視聴覚教育センター条例施行規則第 6 条に則り、北村山広域市町村圏内社会教育団体関係者、北村山広域市町村圏内小中学校教職員、教育関係機関の職員及び学識経験者より委嘱又は任命しています。

## 4 北村山視聴覚教育センター 運営方針・重点施策 及び主な事務事業

### 令和2年度 運営方針

北村山広域市町村圏における新しい未来を創る子供たちの育成を目指し、超スマート社会（society 5.0）の到来に即応した視聴覚・情報教育の日常化を促進援助し、教育方法と内容の改善充実に努め、地域とともに学び、より開かれた運営を目指す。

#### (1) 研究と研修活動

学校教育・社会教育に関する ICT 機器関係の研修を計画的に行うとともに、相談、指導助言、並びに調査研究を行う。

#### (2) 学習情報の提供

学校教育・社会教育に必要な ICT 機器を収集し、広くその利用に供するとともに、地域性を生かした教材の開発及び制作を行う。

#### (3) 施設利用の学習

学校教育・社会教育のセンター利用学習については、それぞれの教育目標との関連において効果的に行われるように努める。

学校教育・社会教育等関係者に計画的かつ自主的な研修・研究の場を提供する。

#### (4) 連絡提携と広報活動

視聴覚教育に関する普及・啓発のために、学校教育・社会教育関係、地域団体等と連絡提携を密にし、広報活動を積極的に行う。

## 令和2年度 重点事業

### (1) 研修・学習機能の充実

#### ア 委嘱研究

- (ア) 視聴覚教育活動の中核となる教員を養成し、管内の視聴覚教育をさらに向上、推進していくため、委嘱研究員に対する支援を充実させる。（教材研究等の相談業務、研修の補助など）

#### イ プログラミング教室を中核とした移動学習

- (ア) プラネタリウムを活用し、各学年の学習内容に応じた理科の天文学習を実施する。
- (イ) 新学習指導要領の完全実施に伴い導入された「小学校プログラミング教育」に対応したプログラミング教室を充実させる。（年間40クラス）

#### ウ 時代の変化に即した研修会

- (ア) 施設単位講習会で、時代に即した研修会（情報モラル、プログラミング等）を充実させる。
- (イ) 幼児施設の職員を対象としたICT機器活用の基礎講座（年6回）の開催
- (ウ) 小中学校教職員を対象としたプログラミング講座（年4回）の開催
- (エ) 授業づくり講座は、管内教育委員会及び北村山小中学校メディア教育部会と連携して機器の整備状況に応じた内容で開催し、講座の充実を図る

#### エ ICT活用・プログラミング教育実践事例集（第2集）の作成

- (ア) 環境整備の進展に応じたICT機器活用の実践事例や小学校におけるプログラミング教育の実践事例を集約し、実践事例集として作成する。

### (2) 映像教材の制作、保存活動の充実

#### ア 映像教材の制作

- (ア) 地域素材を扱った自作視聴覚教材の制作を計画的に実施し、子供たちの学習等に役立てる。
- (イ) 成果教材を全国及び山形県自作視聴覚教材コンクールに出品し、制作技術の向上に努める。

#### イ 映像教材の制作支援

- (ア) 視聴覚教材コンクールに向け講師を招き研修を行い、制作技術の向上を図る。

#### ウ 自作視聴覚教材のアーカイブ化の推進

- (ア) 自作教材を中心にアーカイブ化を推進し、広く映像資料を提供する。

#### エ 機器材・教材貸出のさらなる推進

- (ア) 時代に即した機器材を整備し、学校及び社会教育団体に貸し出しを推進する。

(3) 一般公開の充実

ア 天文講演会（2回）

（ア）はやぶさ2の帰還に合わせて講演会を実施し、地域住民の天文に関する興味関心を高める。

a JAXA はやぶさ2プロジェクトチーム 武井悠人 氏

b 国立研究開発法人 情報通信研究機構 寺菌淳也 氏

※「はやぶさ1」で広報を担当

イ センターまつりにおける他団体との連携

（ア）センター利用関係団体や、管内高等学校と連携し、センターまつりの内容を充実させる。

ウ 幅広い方に利用いただけるプラネタリウム

（ア）リニューアルされたプラネタリウム室の椅子をご利用いただきながら、幅広い地域・年代の方に楽しんでもらえるプラネタリウム（音楽との共演、天体事業、土曜開館等イベント）を提供する。

## 5 点検・評価対象事業一覧

各重点施策のうち、○印を付した事業（以下に記載）について、点検評価を実施した。

### 重点事業1 研究と研修活動の充実

- |                                  |
|----------------------------------|
| (1) 委嘱研究                         |
| (2) プログラミング教室を中核とした移動学習          |
| (3) 時代の変化に即した研修会                 |
| (4) ICT活用・プログラミング教育実践事例集（第2集）の作成 |

○視聴覚教育委嘱研究事業	1 1
○移動学習	1 2
○ICT教育推進事業	1 3
○施設単位講習会	1 4
○職員研修	1 5

### 重点事業2 映像教材の制作、保存活動の充実

- |                       |
|-----------------------|
| (1) 映像教材の制作           |
| (2) 映像教材の制作支援         |
| (3) 自作視聴覚教材のアーカイブ化の推進 |
| (4) 機器材・教材貸出のさらなる推進   |

○映像教材制作事業（自作教材制作）	1 6
○映像教材の保存・アーカイブ化	1 7
○16ミリフィルム活用・保存活動	1 8

### 重点事業3 一般公開の充実

- |                         |
|-------------------------|
| (1) 天文講演会（2回）           |
| (2) センターまつりにおける他団体との連携  |
| (3) 幅広い方に利用いただけるプラネタリウム |

○天文関係事業	1 9
○一般公開事業	2 0
○機材・教材購入	2 1
○センター利用を促進するための広報活動	2 2

\* 各事業の評価基準

評価項目	評価の視点	評価結果	点数
必要性	広域行政として行うべきか。 地域のニーズを反映しているか。	必要性高い	3
		一応必要性ある	2
		必要性低い	1
効率性	投入された資源量に見合った効果が得られるか。	効率的である	3
		一応効率的ある	2
		効率的でない	1
有効性	目的に対して事業が有効か。 事業実施により期待される効果が得られたか。	効果がある	3
		一応効果がある	2
		効果がない	1
総合評価	上記（必要性+効率性+有効性）の合計点数により評価。	継続・拡大（9～8点）	A
		見直・改善（7～5点）	B
		縮小・廃止（4～3点）	C

令和2年度 北村山広域行政事務組合教育委員会 事務事業点検・評価書

基本方針	1 研究と研修活動の充実	事業名	視聴覚教育研究委嘱事業	所管 課等・係名	北村山視聴覚教育センター	作成日	R3.5.31
事業 実施主体	北村山視聴覚教育センター	事業箇所	事業実施場所及び北村山視聴覚教育センター	事業年度	開始年度	終了年度	
対象	管内幼児施設職員、小・中・高の教職員	内容	<p>公開授業研究会 令和2年度委嘱研究員 10/5 尾花沢市立常盤小学校 真由美(1年次) 10/21 東根市立高崎小学校 里沙(2年次) 12/11 大石町立大石中学校 亮(1年次) 12/15 村山市立福岡小学校 愛美(1年次)</p> <p>教諭 織江 教諭 門脇 教諭 村田 教諭 齋藤</p> <p>研究員(各町1名ずつ)を委嘱し、ICT機器を活用した効果的な学習指導法の開発や、プログラミング教育の実践研究を推進する。</p>	事業費	89千円		
1 事業内容				歳入 (補助金等)	0千円	0千円	その他
				歳入 (一般財源)			98千円

2 事務事業評価(令和二年度事業)	評価項目	評価結果 点数	理由・問題点など	前年度からの改善点	研究の方向性を「ICTの日常的な活用を基盤とした児童生徒の情報活用能力の育成」とした。 また、研究員と積極的に情報交換を行い、日常的な活用について検討を重ねた。
	必要性	③ 2 1	GIGAスクール構想により学習者用端末が整備されることを受けて、授業における効果的なICTの活用に関する事例の提供が急務となっている。委嘱研究員を中心にICT活用に関する先進的な事例を、管内の学校に提供していく必要がある。		
	効率性	③ 2 1	どちらかといえば効率的 効率的でない	次年度への課題	学習者用端末が一人一台ではない中でも、普段の授業でのICTを積極的に活用しようとする姿が見られた。次年度より一人一台環境となることを見据えて、何をテーマとしていくか早速に方向付けを行う必要がある。 研究は2年間となるが、1年ごとに完結してしまいう傾向が見られた。
	有効性	③ 2 1	効果がある 一応効果がある 効果がない	今後の取組方針	委嘱研究員は、各市町教育委員会推薦のみならず、希望者の募集も行う。 GIGAスクール構想の実現による学習者用端末の整備に伴い、一人一台環境下において、ICTをより効果的に活用していくための方策については、2年間での取り組みとなることを再度確認し、長期的な視野での研究となるようにする。
	総合評価	④ B C	継続・拡大(9~8点) 見直・改善(7~5点) 縮小・廃止(4~3点)		

令和2年度 北村山広域行政事務組合教育委員会 事務事業点検・評価書

基本方針	1 研究と研修活動の充実	事業名	移動学習事業	所管 課等・係名	北村山視聴覚教育センター	作成日	R3.5.31
事業 実施主体	北村山視聴覚教育センター	事業箇所	事業実施場所及び北村山視聴覚教育センター	事業年度	開始年度	終了年度	
	管内幼児施設職員、小・中・高の児童生徒	内容	移動学習 ・天文教室 ・映画教室 ・情報モラル教室 ・プログラミング教室 令和2年度実績 合計139回	事業費	1393千円		
	管内幼児施設、小中学校、社会教育関係団体を対象として、天文学習や映画教室、情報モラル教室、プログラミング教室を行い、児童の学習をサポートする。			歳入 (補助金等)	国	0千円	県
対象	管内幼児施設職員、小・中・高の児童生徒			歳入 (一般財源)	1839千円		

2 事務事業評価（令和二年度事業）	評価項目	評価結果	点数	理由・問題点など	昨年度からの改善点
	必要性	必要性が高い 一応必要性ある 必要性低い	③ 2 1	プラネタリウムや視聴覚室を持つ管内唯一の施設として、今後も移動学習を実施していく必要がある。同時にICT教育に関しても、視聴覚教育センターとして移動学習の中で実施していく必要がある。	プログラミング教室用に教材(MESHセンサー等)を整備し、より教科書に沿った内容にした。令和2年度からの実施に向けて不安を抱えている学校へのより積極的な利用を促した。
	効率性	効率的である どちらかといえば効率的 効率的でない	③ 2 1	児童生徒の天文に関する理解を促すには、プラネタリウムの活用が効果的である。また、情報モラル教室やプログラミング教室に関しても、専門性の高い職員が実施することでより効果が期待できる。	プログラミング教室は、移動学習のメニューの一つとして着実に浸透してきている。次年度は、MESHセンサーの初期指導の場として移動学習を積極的に活用してもらえようように各学校に促していく必要がある。
	有効性	効果がある 一応効果がある 効果がない	③ 2 1	実際に児童生徒を対象として各教室を実施することで、参加した児童生徒はもとより、引率の教職員にとっても大きな学びとなり大変有効である。	プログラミング教室は、移動学習のメニューの一つとして着実に浸透してきている。次年度は、MESHセンサーの初期指導は各校で実施し、高度な内容についてセンターを利用してもらうように各学校に促していく。また、アンケートを実施し、内容の改善に務める。
	総合評価	継続・拡大(9～8点) 見直・改善(7～5点) 縮小・廃止(4～3点)	④ B C	プログラミング教室に関しては、管内50クラス、延べ1000人を超える児童生徒に実施した。令和2年度より小学校プログラミング教育が実施されることに合わせて、より幅広い学年へ実施できるように内容を工夫していく必要がある。	今後の取組方針

令和2年度 北村山広域行政事務組合教育委員会 事務事業点検・評価書

基本方針	1 研究と研修活動の充実	事業名	ICT教育推進事業	所管 課等・係名	北村山視聴覚教育センター	作成日	R3.5.31
事業 実施主体	北村山視聴覚教育センター	事業箇所	事業実施場所及び北村山視聴覚教育センター	事業年度	開始年度	終了年度	
	管内幼児施設職員、小・中・高の教職員、及び児童生徒	内容	小中学校情報教育研修会(オンライン) センターの事業説明と、タブレット端末とデジタル教科書を活用した授業の提案。 視聴覚教育講演会(オンライン) 視聴覚・情報教育に関して、外部講師(先進校)による講演会を実施する。 実施日:8/5(30名) 講師:つくは市立みどりの学園 義務教育学校 校長 毛利 靖 氏 プログラミング指導教員養成塾(オンライン) プログラミング教育に関して、外部講師による研修会を実施する。 実施日:8/4(16名)、9/29(10名)、2/2(16名) 講師:特定非営利活動法人みんなのコード	事業費	20千円		
	視聴覚・情報教育に関して、中央講師に関して、中央講師による講演会を実施し、管内のICT活用の推進に寄与する。			歳入 (補助金等)	国	県	その他
1 事業内容				歳入 (一般財源)	0千円	0千円	50千円

2 事務事業評価(令和二年度事業)	評価項目	評価結果	点数	理由・問題点など	前年度からの改善点	GIGAスクール構想の実現によって学習者用端末を学ぶことのできる講演とされた。
	必要性	必要性が高い 一応必要性ある 必要性低い	③ 2 1	学習者用の端末の整備を見据えて、管内の視聴覚教育の中心となる当センターに期待されているところが大きいと捉え、研修会等を一層充実させていく必要がある。	今年度から見据えて、先進校の事例を学ぶことのできる講演とされた。	
	効率性	効率的である どちらかといえれば効率的 効率的でない	③ 2 1	GIGAスクール構想に合わせセンターとして様々な研修の機会を提供することで、管内のICT教育の全体的な底上げを効果的に行うことができる。	今年度の講演内容が主に管理職向けの内容であり、案内で管理者向けと明記すべきであった。 また、学習者用端末がそろそろことを見据えて授業の実際にも踏み込んだ研修内容についていく必要がある。	
	有効性	効果がある 一応効果がある 効果がない	3 ② 1	GIGAスクール構想によって学習者用端末が配備されることを見通して、先進校の事例を聞くことができ有効である。	今年度の講演内容が主に管理職向けの内容であり、案内で管理者向けと明記すべきであった。 また、学習者用端末がそろそろことを見据えて授業の実際にも踏み込んだ研修内容についていく必要がある。	
	総合評価	継続・拡大(9~8点) 見直・改善(7~5点) 縮小・廃止(4~3点)	④ B C	GIGAスクール構想による学習者用端末が整備されることを見通し、外部講師による先進的な事例を聞くことで将来の学校のイメージを共有し、北村山管内全体の底上げを図ることができた。	日本教育工学会からの協力を得ながら、学校現場の要望に合った講師を選定し、GIGAスクール構想の実現に伴う一人一台端末の活用の実際について学んでもらえるようにする。	

令和2年度 北村山広域行政事務組合教育委員会 事務事業点検・評価書

基本方針	1 研究と講習活動の充実	施設単位講習会	所管 課等・係名	北村山視聴覚教育センター	作成日	R3.5.31	
事業 実施主体	事業箇所	事業実施場所及び北村山視聴覚教育センター	事業年度	開始年度	終了年度		
	対象	管内幼児施設職員、小・中・高の教職員、及び児童生徒	事業費	歳入 (補助金等)	国	県	その他
	目的	センター職員が学校や施設に出向き、ICT活用に関する講習、プログラミング、情報モラル、星空観望等の講習会を行う。			0千円	0千円	0千円
1 事業内容	内容	主に教職員を対象とした講習 ・ICT活用に関する講習 ・小学校プログラミング教育に関する講習 ・情報モラルに関する講習 主に児童生徒、および保護者を対象とした講習 ・プログラミング学習 ・星空観望会	歳入 (一般財源)	0千円			

2 事務事業評価（令和二年度事業）	評価項目	評価結果 点数	理由・問題点など	前年度からの改善点	次年度への課題	今後の取組方針
	必要性	③ 2 1	学校の担当職員だけでは実施が難しい講習会を、センター職員の専門性を生かし実施することは必要である。	小学校プログラミング教育に関わる講習会の内容を、ICTを使ったより具体的な内容にした。	北村山管内においてGIGASクール構想による端末整備の統一が図られなかったことにより、各市町の状況にそれぞれ対応することが求められる。各市町教育委員会と連携し、推進計画とすり合わせを行いながら講習会の内容を検討していく必要がある。	小学校プログラミング教育や、GIGASクール構想の実現に伴う現場の要望をつぶさに捉え、講習会の内容を充実させていく。特に、クラウドを利用した一人一台端末の活用や、持ち帰りの活用について積極的に提案をしていく。
	効率性	③ 2 1	各校の代表者のみを集めた講習会ではなく、センター職員が各校に直接出向き講習を行うことで、効率的に学校全体での共通理解をはかることができる。			
	有効性	③ 2 1	施設単位で訪れた学校からの評価が高く、近隣の学校でも開催してほしいという要望に繋がっている。現場のニーズに沿った講習会が実施できていると考えられる。			
	総合評価	④ B C	センター職員の専門性を生かした講習会は、学校現場の要望とも合致しており、次年度以降も継続していく。			

# 令和2年度 北村山広域行政事務組合教育委員会 事務事業点検・評価書

事務事業名	1 研究と研修活動の充実	事業名	職員の研修	所管 課等・係名	北村山視聴覚教育センター	作成日
						R3. 5. 31
<b>1 事業内容</b>	事業実施主体	北村山視聴覚教育センター	事業実施場所及び北村山視聴覚教育センター	事業年度	開始年度	終了年度
	対象	センター職員	全国研修会等への参加 ・日本教育工学研究会全国大会 ※オンライン参加 ・全国視聴覚教育総会・理事会 ※オンライン参加 ・教育ITソリューションEXPO ※オンライン参加 (他、GIGAスクール構想や天文分野に関するオンライン研修会に多数参加)	事業費	31千円	
	目的	外部団体の研修に参加することで、職員の見識を高める。研修での学びを管内での研修内容に反映させ、管内におけるICT活用の底上げを図る。	内容 外部講師を依頼しての職員研修 山形県教育センター 指導主事 伊藤泰司 氏 市販図書の購入	補助率	0千円	0千円 0千円 241千円
				地方債名		
<b>2 事務事業評価（令和二年度事業）</b>	評価項目	評価結果	点数	理由・問題点など		
	必要性	必要性が高い 一応必要性ある 必要性低い	③ 2 1	管内のICT教育の中核として、全国の先進的な研究や実践に関する研修を積むことができている。各種センター事業の折に、利用者に対して還元できる部分も多く、今後も積極的に全国規模の研修に参加をしていく必要がある。		
	効率性	効率性である どちらかといえば効率的 効率的でない	3 ② 1			
	有効性	効果がある 一応効果がある 効果がない	③ 2 1			
	総合評価	継続・拡大(9～8点) 見直・改善(7～5点) 縮小・廃止(4～3点)	A B C	次年度への課題 新型コロナウイルスの影響で、全国的な研修会に参加することが難しくなってきた。研修の内容を学校現場にいかにつなげていくかに課題が残る。		
上記(必要性+効率性+有効性)の合計点数により評価。		今後の取組方針 コロナ禍において、開催地に縛られないオンラインでの開催が多くなっている。積極的に参加し、幅広く研修を積んでいく。特に有意義と考えられる研修会については、管内各小中学校に情報提供し参加を促すほか、研修内容について施設単位講習会等において積極的に伝えていく。				

令和2年度 北村山広域行政事務組合教育委員会 事務事業点検・評価書

基本方針		2 映像教材の制作、保存活動の充実		事業名	映像制作事業(自作視聴覚教材制作)	所管 課等・係名	北村山視聴覚教育センター	作成日	R3.5.31	
1 事業内容	事業実施主体	北村山視聴覚教育センター		事業箇所	事業実施場所及び北村山視聴覚教育センター	事業年度	開始年度	終了年度		
	対象	管内幼児施設職員、小・中・高の教職員、社会教育関係団体、一般		内容	<p>ピポオ撮影講習会(10名) 視聴覚教材の制作に関する講演等を実施する。 講師：株式会社ブライト・トゥ 代表取締役 加藤 祐一 氏</p> <p>北村山自作視聴覚教材コンクール 北村山管内の小中高等学校および地域住民に広く公募し、自作視聴覚教材のコンクールを実施する。 11/7 審査会 12/4 表彰式 ・児童生徒作品部門 8作品 ・社会教育部門 1作品</p>	事業費	66千円			
	目的	<p>変化の激しい時代をむかえ、以下の観点に沿った視聴覚教材を整備充実する必要性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の生きる力を育成すること</li> <li>・北村山地域の魅力に注目し教材として活用すること</li> <li>・教材制作を通じて、自ら課題を設定し解決する主体的な学びを展開すること</li> </ul> <p>これらに広げるために、学校教育・社会教育の幅広い分野で、自作視聴覚教材制作の制作を積極的に奨励するとともに、その制作技術の向上に資するため開催する。</p>				歳入(補助金等)	国	県	その他	0千円
							歳入(一般財源)	66千円		
2 事務事業評価(令和二年度事業)	評価項目	評価結果	点数	理由・問題点など						
	必要性	必要性が高い 一応必要性ある 必要性低い	③ 2 1	自作視聴覚教材制作はセンター・ライブラリー機能の面で重要な事業であり、北村山管内の各教育団体が主体的に教材制作を行えるよう、センターが支えていく役割を担う必要がある。						
	効率性	効率的である どちらかといえば効率的 効率的でない	3 ② 1	センター主催のコンクールを毎年開催することにより、学校教育機関、社会教育団体とともに毎年のように出品する団体があるため、一定の効果があるといえる。						
	有効性	効果がある 一応効果がある 効果がない	3 ② 1	学校教育において、情報機器の活用力や表現力の育成が重要視されてきている。これらの能力を育成することを目的としてコンクールへの出品をする学校もあり、教育的効果の面でも効果がある。						
総合評価	継続・拡大(9～8点) 見直・改善(7～5点) 縮小・廃止(4～3点)	A B C	自作視聴覚教材制作は、センター・ライブラリー機能の面で、センターが担うべき役割の1つである。また、教材制作活動が学校教育にも効果的に活用できるといふ点から、今後も事業を続けていくべきと考え、作品数が少ないので、今後は教育効果についてより詳しく説明するなどし、学校教育活動への活用を増やしていくべきである。							
				前年度からの改善点	ピポオ撮影講習会をコンクールに向けた研修の場と位置付け、撮影技術や映像編集のポイントについて外部講師を招いた研修会を実施した。					
				次年度への課題	自作視聴覚教材コンクールの出品者が固定化している。また、出品数は増えたものの作品内容の質の向上が必要である。					
				今後の取組方針	自作視聴覚教材制作講習会を実施し、映像制作の知識や制作技術の学びの場と位置づけ、出品作品の質の向上と出品数の増加を促す。また、専門部会との連携を密にし、地域に密着した教材制作を行う。					

令和2年度 北村山広域行政事務組合教育委員会 事務事業点検・評価書

基本方針	2 映像教材の制作、保存活動の充実	事業名	映像教材の保存・アーカイブ化	所管課等・係名	北村山視聴覚教育センター	作成日	R3.5.31
1 事業内容	事業実施主体	事業箇所	北村山視聴覚教育センター	事業年度	開始年度	終了年度	
	対象	内容	北村山地域の伝統文化、伝承行事等を映像作品として保存・伝承する事業。教材に適した映像素材であるかどうかを判断し、計画的に撮影および編集等を行う。撮影にはドローンを積極的に活用する。 各専門部会の活動にも制作活動も制作活動を位置づけ、部会員と連携を図りながら制作する。作品を収める媒体は、DVDおよびインターネット上の動画投稿サイト(YouTube)とする。 北村山視聴覚教育センター公式YouTubeチャンネル 公開動画:159本 チャンネル登録者数:119人 総視聴回数:16,169回 (R3.3.31現在)	事業費	569千円		
	目的			古くから受け継がれてきた行事や伝統芸能などを映像として保存し、永く後世に伝えていく。	歳入(補助金等)	国 0千円 県 0千円 その他 0千円	

2 事務事業評価(令和二年度事業)	評価項目	評価結果	点数	理由・問題点など	前年度からの改善点	次年度への課題	今後の取組方針
	必要性	必要性が高い 一応必要性ある 必要性低い	③ 2 1	古くから受け継がれてきた行事や伝統的な芸能、産業、自然などを撮影・保存することで、後世に受け継ぐことができる。これは、視聴覚教育センターとしての重要な役割であり、必要性は高い。	動画投稿サイト(YouTube)を活用し、所蔵する自作視聴覚教材の保存・公開事業を充実させた。		
	効率性	効率性である どちらかといえれば効率的 効率的でない	③ 2 1	デジタル媒体をインターネット上に動画投稿する効率性は、DVDパッケージを製作する労力より効率的である。制作物も品質をそのままに保存できることから動画投稿サイトの利用は有用である。		利用者ニーズに即した作品づくり、視聴者を引き付ける教材制作(編集技術、教材の長さ、ドローンやマイク等の機器材の機能的活用)が課題である。	
	有効性	効果がある 一応効果がある 効果がない	③ 2 1	インターネット上への動画投稿により全世界に対象が広がり、視聴者数が増加した。地区の伝統文化の価値を多くの人々に伝えるためには大変有効である。			教材制作に関する研修を受講し、作品の質の向上を図る。各専門部会での制作活動を継続して行う。
	総合評価	継続・拡大(9~8点) 見直・改善(7~5点) 縮小・廃止(4~3点)	④ B C	視聴覚教育施設としての役割を果たすため、今後も撮影・保存活動を継続していく。			

令和2年度 北村山広域行政事務組合教育委員会 事務事業点検・評価書

基本方針		2 映像教材の制作、保存活動の充実		事業名		16ミリフィルム活用・保存事業		所管 課等・係名		北村山視聴覚教育センター		作成日		R3.5.31		
1 事業内容	事業実施主体	北村山視聴覚教育センター		事業箇所		事業実施場所及び北村山視聴覚教育センター		事業年度		開始年度		終了年度				
	対象	管内幼児施設職員、小・中・高の教職員、社会教育関係団体、一般		内容		16ミリフィルムの活用 ・土曜一般公開での16ミリフィルム映画の上映 ・「星と映画の夕べ」での16ミリフィルム映画の上映 16ミリフィルムの保存		事業費		歳入 (補助金等)		歳入 (一般財源)		0千円		
	目的	16ミリ映画を活用し、学校教育・生涯教育の振興を図る。 16ミリ映画機の使用法を学び、幼児施設・学校・公民館・子供会・各種団体活動等で利用できるようにする。						歳入 (補助金等)		国		県		その他		0千円
2 事務事業評価（令和二年度事業）	評価項目	評価結果	点数	理由・問題点など		前年度からの改善点		次年度への課題		今後の取組方針						
	必要性	必要性が高い 一応必要性ある 必要性低い	③ 2 1	理由・問題点など 視聴覚ライブラリーの機能の1つとして16ミリ映画の貸出がある。教育映画としての歴史があり、文化財としての価値を大切にしながら、社会教育団体の利用を増やしていく必要がある。		前年度からの改善点 16ミリ映画を活用する事業での、対象者を明確にした広報。		次年度への課題 16ミリ映画の良さや魅力を伝える必要がある。社会教育団体が16ミリ映画を事業に活用したいと思えるよう、16ミリ映画の価値が伝わるような事業の計画も検討していく。		今後の取組方針 16ミリ映画の良さや魅力を伝える必要がある。社会教育団体が16ミリ映画を事業に活用したいと思えるよう、16ミリ映画の価値が伝わるような事業の計画も検討していく。						
	効率性	効率的である どちらかといえば効率的 効率的でない	3 ② 1	理由・問題点など 現在製造されていない16ミリ映画の良さを多くの方に提供していく役割を担う立場として、上映の場を提供していく必要がある。		前年度からの改善点 16ミリ映画を活用する事業での、対象者を明確にした広報。		次年度への課題 16ミリ映画の良さや魅力を伝える必要がある。社会教育団体が16ミリ映画を事業に活用したいと思えるよう、16ミリ映画の価値が伝わるような事業の計画も検討していく。		今後の取組方針 16ミリ映画の良さや魅力を伝える必要がある。社会教育団体が16ミリ映画を事業に活用したいと思えるよう、16ミリ映画の価値が伝わるような事業の計画も検討していく。						
	有効性	効果がある 一応効果がある 効果がない	3 ② 1	理由・問題点など 16ミリ映画を利用したことがない団体や、利用団体の中で許可証の保有者の次の世代の方々をターゲットにして案内を行い利用者を増やす。		前年度からの改善点 16ミリ映画を活用する事業での、対象者を明確にした広報。		次年度への課題 16ミリ映画の良さや魅力を伝える必要がある。社会教育団体が16ミリ映画を事業に活用したいと思えるよう、16ミリ映画の価値が伝わるような事業の計画も検討していく。		今後の取組方針 16ミリ映画の良さや魅力を伝える必要がある。社会教育団体が16ミリ映画を事業に活用したいと思えるよう、16ミリ映画の価値が伝わるような事業の計画も検討していく。						
	総合評価	継続・拡大(9～8点) 見直し・改善(7～5点) 縮小・廃止(4～3点)	A B C	理由・問題点など 上記(必要性+効率性+有効性)の合計点数により評価。		前年度からの改善点 16ミリ映画を活用する事業での、対象者を明確にした広報。		次年度への課題 16ミリ映画の良さや魅力を伝える必要がある。社会教育団体が16ミリ映画を事業に活用したいと思えるよう、16ミリ映画の価値が伝わるような事業の計画も検討していく。		今後の取組方針 16ミリ映画の良さや魅力を伝える必要がある。社会教育団体が16ミリ映画を事業に活用したいと思えるよう、16ミリ映画の価値が伝わるような事業の計画も検討していく。						

令和2年度 北村山広域行政事務組合教育委員会 事務事業点検・評価書

基本方針	3 一般公開の充実	事業名	天文関係事業 (天文講演会・イベントプラネタリウム等)	所管 課等・係名	北村山視聴覚教育センター	作成日	R3.5.31
1 事業内容	事業実施主体	事業箇所	北村山視聴覚教育センター	事業年度	開始年度	終了年度	
	対象	内容	天文講演会 はやぶさ2の帰還に合わせて、はやぶさ2のミッションに関する講演会を行う。 イベントプラネタリウム プラネタリウムの新しい魅力を発表するため、音楽とのコラボレーションや、睡眠をテーマにしたプラネタリウムを行う。 星空散歩 季節の星座や惑星などの天体の観察を望遠鏡などを使って行う。 星と映画のタブ 社会教育専門部員と連携し、要請に応じて各市町に出向き映画上映と天体観望を行う。 本員制星空教室「スターウォッチングクラブ」 小学生を対象に参加者を募り、天文学習や観望会を行う。	事業費	145千円		
	目的			幅広い年代を対象に天文への興味関心を持ってもらうことや、天文教育を行うもの	歳入 (補助金等)	国	県
				歳入 (一般財源)	0千円	0千円	251千円

2 事務事業評価（令和2年度事業）	評価項目	評価結果	点数	理由・問題点など	前年度からの改善点	次年度への課題	今後の取組方針
	必要性	必要性が高い 一応必要性ある 必要性低い	③ 2 1	プラネタリウム関連のイベントや観望会のイベントは、いずれも定員に達する盛況ぶりであり、YouTube Live配信の視聴も一定数あった。スターウォッチングクラブも毎年ほぼ定員を満たしており、天文愛好者の育成と天文教育の点で重要な事業となっている。北村山において唯一プラネタリウムを所持する施設である点からも、必要性は高い。	YouTubeによるライブ配信を行い、会場に参加できない状況においてもイベントを開催した。天文事業に関する協力団体と連携し、観望の様子の中継も行った。	より天文に興味を持ってもらえるよう、対象年代に対応した内容にする必要がある。一般の方を対象とした天文学習としては、継続してJAXA職員による天文講演会を実施する。	天文事業に関する協力団体との連携を強化し、管内住民に天文に興味を持ってもらえるような企画を計画する。
	効率性	効率的である どちらかといえば効率的 効率的でない	③ 2 1	インターネットを経由した申込手法の導入やYouTubeによるLive配信により、少ない労力で多くの参加者を取り込むことができ、効率的であった。			
有効性	効果がある 一応効果がある 効果がない	③ 2 1	満足度はすべての事業で7割を超えており、アンケート回答者全員が「満足」と回答した事業もあつた。天文現象や星座への興味関心が高まったとの回答が多く、期待される効果が得られたといえる。				
総合評価	継続・拡大(9~8点) 見直・改善(7~5点) 縮小・廃止(4~3点)	A B C		音楽以外にもプラネタリウムと融合させさせる企画を検討し、利用拡大を図る。天体関連の講演会やスターウォッチングクラブなどの事業では、職業教育の観点も踏まえて内容の充実を図る。			

令和2年度 北村山広域行政事務組合教育委員会 事務事業点検・評価書

基本方針	3 一般公開の充実	事業名	一般公開事業	所管課等・係名	北村山視聴覚教育センター	作成日	R3.5.31		
1 事業内容	事業実施主体	北村山視聴覚教育センター	事業箇所	北村山視聴覚教育センター	事業年度	開始年度	終了年度		
	対象	一般	内容	センターまつり ・プラネタリウム投影 ・映画上映 ・科学教室 ・プログラミング体験 ・トイドローンの飛行体験 ・管内高校との連携 土曜一般公開 ・映画上映とプラネタリウム投影 445人(25回) ・機器材・教材の貸出や、教材制作等での施設利用 148人(25回)	事業費	51千円			
	目的	プラネタリウム室や視聴覚室などの設備と、貸出機材・教材について多くの方に知ってもらい、観望会等のイベントだけでなく、土曜日の利用者や、貸出、学習室の利用者など、年間合計の利用者の増加を図る。		歳入(補助金等)	0千円	国	県	その他	
						0千円	0千円	0千円	272千円

2 事務事業評価(令和二年度事業)	評価項目	評価結果	点数	理由・問題点など	前年度からの改善点
	必要性	必要性が高い 一応必要性ある 必要性低い	3 ② 1	土曜日に地域住民が利用する機会を設けることが、貸出や学習室利用、観望イベント等への参加者の増加につながる。一般公開を定期的に行う必要性を感じる。	センターまつりは実施を早送り、土曜一般公開は座席数を減らして実施するなど、感染症対策の観点で内容を大きく変更せざるを得なかった。
	効率性	効率的である どちらかといえば効率的 効率的でない	3 ② 1	センターまつりについて、感染症対策の観点から開催は難しい。土曜日開催については休日の振替の課題があったため、昨年度の利用者が多かった午前中のみの開催とした。効率的に施設の公開を行うことができたといえる。	映画とプラネタリウムの内容について、利用者の声を受けて内容を改善していく必要がある。特に映画については、大人向けの作品や最新のアニメ作品などの上映も検討すべきである。
有効性	目的に対して事業が有効か。事業実施により期待される効果が得られたか。	効果がある 一応効果がある 効果がない	③ 2 1	幼児、児童の付き添いとして来所する保護者の方が、施設の機能を知ること、会議での利用や貸出などの利用につながるのでないかと考え、有効性は高い。	センターまつり開催については、感染状況を踏まえて検討する。土曜一般公開では、今後も幼児や児童が楽しめる映画を上映した。16ミリアルム映画の良さを味わえる工夫を検討する。親子連れだけでなく、大人だけでも来場できるような内容にし、機器材の貸出や平日の学習室利用、観望イベント等への参加者増加につなげる。
	総合評価	継続・拡大(9~8点) 見直・改善(7~5点) 縮小・廃止(4~3点)	A B C		今後の取組方針

令和2年度 北村山広域行政事務組合教育委員会 事務事業点検・評価書

基本方針	2 映像教材の制作、保存活動の充実	事業名	機器材・教材購入及び貸出	所管 課等・係名	北村山視聴覚教育センター	作成日	R3.5.31
事業 実施主体	北村山視聴覚教育センター	事業箇所	北村山視聴覚教育センター	事業年度	開始年度	終了年度	
	対象	研修用機器材は、センター主催事業での利用。 貸出用機器材は、学校教育関係機関、社会教育関係団体、その他教育 長が認めた団体。 貸出用教材は、上記団体に加え、管内に住所を有する個人。	事業年度	【貸出用教材】 ・国語科教材 1セット(6本) ・技術家庭科教材 1セット(5本) ・特別活動教材 1セット(4本) ・生徒指導教材 1セット(1本) 【貸出状況】 ・ノートパソコン 35本 ・ビデオ・DVD 2,227本 ・ビデオカメラ 1,311件	事業費	3038千円	
目的	小中学校、社会教育団体等で利用する視聴覚機器材、教材を整備し、学校、団体等に提供する。 16ミリ映画、DVD等の教材や、写真機、カメラ等の機器材の購入と貸出しを行う。	内容	【研修用機器材】 ・コンデンサーマイク 1台 (購入) ・プログラミング教育消耗品 10セット (購入) ・講習用ノートパソコン 10台 (リース) ・電子黒板 1台 (リース) ・指導者用デジタル教科書 小学校4教科 (購入) 【貸出用機器材】 ・ノートパソコン 1台 (リース) ・ブームマイクスタンド 2台 (購入) ・ビデオカメラ 1台 (購入)	歳入 (補助金等)	国	県	その他
				歳入 (一般財源)	0千円	0千円	0千円
							4130千円

2 事務事業評価 (令和二年度事業)	評価項目	評価結果	点数	理由・問題点など
	必要性	必要性が高い 一応必要性ある 必要性低い	③ 2 1	全体的には減少傾向にあるが、今年度整備した機材や高輝度のプロジェクターなどのニーズは高い。また、ICT教育の研修機会を提供するために、最新の機材を整備する必要がある。北村山地区内に同様の施設はなく、センターが担う役割は大きいと考える。
	効率性	効率性である どちらかといえば効率的 効率的でない	③ 2 1	研修用機器材は、移動学習等で効果的に活用した。貸出用機器材は、オンライン会議や自作視聴覚教材制作など、使用目的が想定通りの貸出が多かった。貸出用教材は、以前から要望があった教材や学校の研修にて活用する教材を整備した。いずれも、利用者のニーズに合わせた整備であり、効果が見られた。
	有効性	効果がある 一応効果がある 効果がない	3 ② 1	研修用機器材は、移動学習等で有効に活用できた。一方で、貸出用機器材は、複数の機材が購入から年月が経ち、性能の面で最新機種から見劣りするようになってきた。高性能の機材の調査を行い、利用者が満足するような機器材を定期的に導入し、「最先端の視聴覚機材の提供」というセンターの役割を果たすべき。
	総合評価	継続・拡大(9～8点) 見直・改善(7～5点) 縮小・廃止(4～3点)	④ B C	研究と研修事業を充実させるために、今後も研修用機器材の充実を図る必要がある。 貸出用機器材については、利用者のニーズに応じた、安価でより高性能な機器の提供を考えていく必要がある。 教材購入については、学校での活用が見込める教材をそろえていく必要がある。
				前年度からの改善点 プログラミング教育などの研修用機器材の充実を図った。
				次年度への課題 故障している機材の廃棄と新機種の機材の導入。 貸出統計の分析。 研修用機器材のさらなる充実。 デジタル教科書の有効活用。
				今後の取組方針 貸出統計を吟味し、貸出の多い機材に重点を置いて整備を進める。 最先端の視聴覚教材を活用した教育が体験できるよう機材・教材を整備する。 教材購入については、学校教育のニーズや、一般公開の利用者の声を参考にして整備する。

令和2年度 北村山広域行政事務組合教育委員会 事務事業点検・評価書

基本方針	3 一般公開の充実	事業名	センター利用を促進するための広報活動	所管 課等・係名	北村山視聴覚教育センター	作成日	R3.5.31
1 事業内容	事業実施主体	北村山視聴覚教育センター		事業年度	開始年度	終了年度	
	対象	管内幼児施設、小・中・高校、社会教育関係団体、一般		事業費	事業費	636千円	
	目的	地域住民の多くの方にセンター事業を知ってもらい、全ての事業の予約が定員に達するようにする。特にリピーターの獲得を増やす。				歳入 (補助金等)	国
		内容		歳入 (一般財源)	0千円	0千円	0千円

2 事務事業評価（令和二年度事業）	評価項目	評価結果	点数	理由・問題点など	前年度からの改善点	次年度への課題	今後の取組方針
	必要性	必要性が高い 一応必要性ある 必要性低い	③ 2 1	教育施設や公共施設等へのチラシ配布及びDMIによる情報発信の結果、受付開始からまもなく定員に達するイベントが増えた。情報を得ることでイベントに興味を持ち、参加したいと考える地域住民は多いと考えられ、広報の必要性は高い。	・チラシ配布箇所を拡大した。 ・チラシの準備・配布をスムーズにするために、チラシの印刷を年間契約にした。	・リピーター獲得のためメールマガジン、SNSでの広報の仕方を工夫する必要がある。	広報について、業務分相を行ない時期を逃さないようにする。大きなイベントについては、実施要項を3か月前に完成させ、計画的にチラシを配布できるようにする。同時にプレスリリースも確実に行う。 R3年度からメール斉送信システムを用いた広報（メールマガジン）に移行し、メールでの広報の効率性を高めるとともに、チラシや利用者への広報を積極的に行い、登録者を増やす。 ホームページやSNSでの広報をさらに充実させる。Facebook以外の広報を検討する。
	効率性	効率的である どちらかといえば効率的 効率的でない	③ 2 1	チラシにホームページへ誘導するQRコードを掲載しており、インターネットで申し込む予約システムが確立され、予約受付を効率的に行えるようになった。			
	有効性	効果がある 一応効果がある 効果がない	③ 2 1	教育施設に全員のチラシを配布するイベントの参加者は良好であることから、チラシ配布には一定の効果がある。児童生徒だけでなく、地域の一般の方々への広報についてさらに工夫していく必要がある。			
	総合評価	継続・拡大(9～8点) 見直・改善(7～5点) 縮小・廃止(4～3点)	A B C	リピーターを獲得することで、参加者数の安定を図ることができると考えられる。チラシの送付だけでなく、メールやSNSでの広報を工夫していく。			

令和2年度 北村山広域行政事務組合教育委員会 事務事業点検・評価書

基本方針	総務全般	事業名	視聴覚教育センター維持管理事業	所管課等・係名	広域 庶務係	作成日	R3.5.31
事業実施主体	北村山広域行政事務組合	事業箇所	北村山視聴覚教育センター	事業年度	開始年度	終了年度	5
対象		内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蛍光灯のLED化修繕工事 (3か年計3,699千円)</li> <li>・ ホイラー室改修工事 (ホイラー撤去7ヶ所封じ込め, 更衣室設置) 10,000千円</li> <li>・ 高圧ケーブル、高圧機器等交換修繕工事 10,000千円</li> <li>・ 外壁、屋上の改修工事 10,000千円</li> <li>・ 自動ドア交換 550千円</li> </ul> <今後検討が必要なものと> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ トイレ改修工事</li> </ul>	事業費	11,400千円		
目的	設置から45年が経過し、施設が老朽化しているため、計画的に修繕を進める。				歳入(補助金等)	国 0千円	県 0千円
1 事業内容				歳入(一般財源)			11,400千円

2 事務事業評価 (令和2年度事業)	評価項目	評価結果	点数	理由・問題点など
	必要性	必要性が高い 一応必要性ある 必要性低い	③ 2 1	(空調機工事)空調機をメンテナンスしながら使用している状況で、更新が必要な状況である。 (プラ室屋根修繕)屋根の剥離があり応急修繕をおこなっており、早急の修繕が必要である。 (LED化修繕)会議室等のLED化であり、必要性が高い。
	効率性	効率性である どちらかといえば効率的 効率的でない	③ 2 1	(空調機工事)最新型の空調機を導入し、必要な部屋だけをコントロールできるため効率的である。 (プラ室屋根修繕)剥離の心配が解消され、当面剥離等の心配がない。 (LED化修繕)会議室等のLED化であり、省エネルギーに寄与する。
	有効性	効果がある 一応効果がある 効果がない	③ 2 1	(空調機工事) (プラ室屋根修繕) (LED化修繕)移動学習や会議室等で使用し、明るくなり学習しやすくなったと評価されている。
	総合評価	継続・拡大(9~8点) 見直・改善(7~5点) 縮小・廃止(4~3点)	④ B C	今後の取組方針 今後、考えられる修繕も含め次年度の計画に搭載していく。

令和2年度 北村山広域行政事務組合教育委員会 事務事業点検・評価書

基本方針	総務全般	事業名	北村山教育会基金事業	所管 課等・係名	広域 庶務係	作成日	2021/1/1	
1 事業内容	事業実施主体	北村山広域行政事務組合	北村山広域行政事務組合教育委員会	事業年度	開始年度	3	終了年度	5
	対象		基金名：北村山教育会基金 基金額：20,974,476円（R2.3現在） 事業内容：顕彰事業（北村山教育賞、北村山教育奨励賞）、北村山教育関係団体への助成事業	事業費	7,154千円			
	目的	財団法人北村山教育会の解散に伴う基金を基にした北村山の振興に係る経費。	内容	助成団体：北村山地区指導主事連絡協議会、北村山地区小・中学校長会協議会、北村山地区小・中・高生徒指導連絡協議会、北村山図書館協議会	歳入 (補助金等)	国	県	その他
				歳入 (一般財源)	0千円	0千円	0千円	7,154千円

2 事務事業評価（令和2年度事業）	評価項目	評価結果 点数	理由・問題点など	次年度への 課題
効率性	③	必要最低限で行っており効率的である。		
有効性	③	効果がある		
総合評価	総合評価	④	令和2年度は、教育賞1団体、教育奨励賞1個人へ表彰を行ったほか4団体へ助成を行い、効果が有効である。	今後も、顕彰及び助成を継続していく。
	必要性+効率性+有効性	④	令和2年度は、教育賞1団体、教育奨励賞1個人へ表彰を行ったほか4団体へ助成を行い、効果が有効である。	
	必要性+効率性+有効性+有効性の合計点数により評価。	④	令和2年度は、教育賞1団体、教育奨励賞1個人へ表彰を行ったほか4団体へ助成を行い、効果が有効である。	
				今後の 取組方針